

## I. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

### 福島大学の教育目標

福島大学は、正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて、自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に取り組み、人口減少や高齢化、環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21世紀的課題」を自分事として捉え、複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え、確かな専門知識や技術、実践的なスキル、「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

### 福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では、以下の要件を満たす学生を募集します。なお、「求める学生像」の具体的内容は、学類のアドミッション・ポリシー（AP）で示します。

1. 〈福島大学の教育目標〉を理解していること
2. 地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
3. そのために、①選択した領域の専門知識、②問題を発見し探究する力、③広い教養と知的関心、④グローバルな視野、⑤主体的に多様な人々と協働する力、を自ら向上させようとする意欲があること
4. 福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力、思考力・表現力・コミュニケーション能力、現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

## 人文社会学群

---

### 〔行政政策学類〕

#### 1. 行政政策学類の教育目標と求める学生像

行政政策学類では、21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために、卒業までに次の5つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。特に夜間主は、働きながら学ぶ人、様々な社会経験をもとに学びたいと考える人を対象とします。

- 法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識
- 国・地域・社会における諸問題を自ら発見し、調査・分析する能力
- 発見し、調査・分析した諸課題につき、解決する能力
- 学際的な創造力で社会に貢献する応用的能力
- 修得した知識・考察した結果を発表し、議論する能力

行政政策学類には、「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」の2コースがあり、2年生の前期（第3 Semester）からいずれかのコースに所属することになります。

#### 2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

[昼間の一般入試・前期日程] 募集人数 108人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

[昼間の一般入試・後期日程] 募集人数 35人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

[昼間の推薦入試] 募集人数 42人

調査書（評定平均4.3以上）、志願理由書（「法・地域・社会・文化について関心がある者」）提出を推薦要件とし、個別学力検査（小論文）と面接によって実施。

[夜間主のアドミッション・オフィス（AO）入試] 募集人数 20人

志願理由書に基づいた口頭試問によって実施。

### 3. 入試の際に求める知識・技能・関心

21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すための能力を大学において身に付けるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力（以下のうち1つ以上）

- ・国語，地歴公民，理科，数学，外国語について，修学に必要な知識を有している。
- ・上記科目のうち，いずれか3科目について，優れた知識を有している。

(2) 現代社会や地域の諸課題に関する理解力・思考力・分析統合力・表現力（以下のうち1つ以上）

- ・読書や論理的な文章を書く習慣に基づく長文の読解力
- ・政治，経済，社会的な問題などに関心を持ち，深く考察する態度
- ・意見交換によって解決策を考えだすための発言力あるいは論点整理力

## 理工学群

### [共生システム理工学類]

#### 1. 共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では、21世紀の社会が抱える諸課題に挑戦でき、人・産業・環境が共生する社会の構築に貢献できる人材を育成することを目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で、卒業までに次の4点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- ・論理的で的確な立案力と決定力
- ・学際的・国際的に実践する力
- ・積極的かつ持続的な貢献意識

共生システム理工学類では、1年生で数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに、「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システムの的に捉える力を養います。2年生の前期（第3セメスター）から専門領域名を冠した9つのコース\*の中から1つを選択して専門領域を深く学び、3年生の後期（第6セメスター）からは研究室に配属されて、演習や卒業研究を行います。

\*9コース：数理・情報科学コース，経営システムコース，物理・システム工学コース，物質科学コース，エネルギーコース，生物環境コース，地球環境コース，社会計画コース，心理・生理コース

#### 2. 入学試験の種類と内容

本学類では4種類の入学試験を実施します。それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

[アドミッション・オフィス（AO）入試] 募集人数 25人

高等学校までの学習全般を含む総合問題，自ら設定した課題についてのポスターを用いた発表と口頭による質疑，志願理由書および調査書により，高等学校の基礎的な学力，論理的な思考力のある人を選抜します。特に持続的な探求意欲と行動力のある人を期待します。

[推薦入試] 募集人数 20人

小論文，面接，志願理由書および調査書により，基礎学力，理解力，論理的な思考力と表現能力を持つ人を選抜します。調査書の全体の評定平均値が4.0以上の人を対象としており，高等学校の間に勤勉な学習を重ねた人を期待します。

[3年次編入学] 募集人数 若干名

高等専門学校を卒業見込みの者を対象に，面接と提出書類（志願理由書，推薦書，調査書）により，本学類で学ぶために必要な基礎的な学力をもち，学習意欲が高い人を選抜します。

[一般入試] 募集人数 前期日程 70人，後期日程 45人

理科1科目および数学（前期）または数学（後期）の記述試験による個別学力検査，センター試験（5教科7科目）および調査書により，基礎的な科目を広く習得し，理系科目の柔軟な思考力と応用力がある人を選抜します。

### 3. 入試の際に求める知識・技能・関心

本学類で学び成長するために，以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身につけるべき基礎学力
- (2) 論理的な思考力
- (3) 自然現象や様々な課題を観察し分析する力
- (4) 観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

## 農学群

---

### 〔食農学類〕

#### 1. 食農学類の教育目標と求める学生像

食農学類では，食品産業や農林業の第一線で活躍することや，行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち，卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- 農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
- 異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
- グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
- 温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

食農学類では，2年生の後期（第4セメスター）から，食品科学コース，農業生産学コース，生産環境学コース，農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは，次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

- 食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を身に付けている。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに，地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。
- 農業生産学コース：果樹・園芸等を含めて作物学の専門的な知識・技能を修得している。病害虫管理や土壌肥料の原理を学ぶことにより，安全な作物生産や環境保全型農業の基本課題を深く理解している。

- 生産環境学コース：森林・農地・水利施設等の生産環境の実態を把握し、管理・活用システムを体系的に理解している。生産環境の修復や ICT 等の最先端技術導入などの実践的な課題に取り組むこともできる。
- 農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報に詳しく、協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

## 2. 入学試験の種類と内容

食農学類では期待する人材を求めて、4種類の入学試験を実施いたします。

それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

[一般入試・前期日程] 募集人数 60名

センター試験の5教科7科目(国語, 地理歴史・公民(1科目), 数学(2科目), 理科(2科目), 外国語), 個別学力検査の2科目(物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B), 英語から2科目選択)で実施。

[一般入試・後期日程] 募集人数 20名

センター試験の5教科7科目(国語, 地理歴史・公民(1科目), 数学(2科目), 理科(2科目), 外国語), 個別学力検査の1科目(数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B), 英語から1科目選択), 及び面接で実施。

[アドミッション・オフィス(AO)入試・地域社会貢献枠] 募集人数 概ね10名

自己推薦書と調査書によって第1次選抜を行い, 第1次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第2次選抜を実施。

福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で, 福島県内の農業, 農業関連産業, 食品関連産業, 農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者, あるいは福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で, 福島県内か出身県内の農業, 農業関連産業, 食品関連産業, 農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者で, 指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

[アドミッション・オフィス(AO)入試・実践教育経験枠] 募集人数 概ね10名

自己推薦書と調査書によって第1次選抜を行い, 第1次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第2次選抜を実施。

高等学校専門学科(農業, 工業, 商業, 情報, 水産, 家庭, 看護, 福祉に関する学科), 総合学科, あるいは中等教育学校専門学科(農業, 工業, 商業, 情報, 水産, 家庭, 看護, 福祉に関する学科)を卒業見込みの者, または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者で, 農学を学ぶ強い意欲を持ち, かつ, 指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

## Ⅱ. 募集人員等

学 類	コ ー ス	募 集 人 員
行 政 政 策 学 類	夜間主 地域政策と法コース 地域社会と文化コース	20人
共生システム理工学類	数 理 ・ 情 報 科 学 コ ー ス 経 営 シ ス テ ム コ ー ス 物 理 ・ シ ス テ ム 工 学 コ ー ス 物 質 科 学 コ ー ス エ ネ ル ギ ー コ ー ス 生 物 環 境 コ ー ス 地 球 環 境 コ ー ス 社 会 計 画 コ ー ス 心 理 ・ 生 理 コ ー ス	25人
食 農 学 類	食 品 科 学 コ ー ス 農 業 生 産 学 コ ー ス 生 産 環 境 学 コ ー ス 農 業 経 営 学 コ ー ス	地域社会貢献枠 概ね10人 実践教育経験枠 概ね10人

### 【注意事項】

- 1 行政政策学類入学者の所属コースは、1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。
- 2-1 共生システム理工学類のAO入試では、合格者が募集人員に満たない場合があります。  
また、入学手続者数が募集人員に満たない場合でも追加合格は行いません。
- 2-2 共生システム理工学類のAO入試および推薦入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は原則として、一般入試前期日程の募集人員に加えます。
- 2-3 共生システム理工学類入学者の所属コースは、1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。
- 3-1 食農学類のAO入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般入試前期日程の募集人員に加えます。
- 3-2 食農学類入学者の所属コースは、2年次前期終了時に決定します。



### Ⅲ. 出 願 資 格

#### 〔行政政策学類 夜間主〕

下記の【大学入学資格を有する者】のうち、次の1と2のいずれかに該当した上で、本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合、入学を確約できる者としてします。

1. 令和2年3月31日現在、年齢が満22歳に達している者（平成10年4月1日に生まれた者を含む。）
2. 令和2年3月31日現在、年齢が満22歳に達していない者で、出願時に、就職している者（主婦（主夫）業を含む。）、就職が内定している者、または入学後に就業しながら修学する意思を確約できる者

※ 就職・就業にはアルバイト、パート等を含み、労働時間が週平均20時間以上のものに限り  
ます。

【大学入学資格を有する者】とは次のいずれかに該当する者をいいます。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和2年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和2年3月に修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
  - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和2年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和2年3月31日までに修了見込みの者
  - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和2年3月31日までに修了見込みの者
  - ④ 文部科学大臣の指定した者
  - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む。）および令和2年3月31日までに合格見込みの者で、令和2年3月31日までに18歳に達する者（平成14年4月1日に生まれた者を含む。）
  - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達する者（平成14年4月1日に生まれた者を含む。）

※ 出願資格(3)⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和元年10月3日(木)〔午後5時必着〕までに提出してください。

なお、個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)を参照してください。

※ 夜間主に入学しても、在留資格「留学」は得られないことに注意してください。

※ 夜間主では、教員免許の取得はできません。

## 〔共生システム理工学類〕

次の1から3のいずれかに該当するとともに、本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意欲を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者とします。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和2年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和2年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
  - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和2年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準じる者で文部科学大臣の指定した者
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和2年3月31日までに修了見込みの者
  - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和2年3月31日までに修了見込みの者
  - ④ 文部科学大臣の指定した者
  - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定に合格した者を含む。）および令和2年3月31日までに合格見込みの者で、令和2年3月31日までに18歳に達する者（平成14年4月1日に生まれた者を含む。）
  - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日までに18歳に達する者（平成14年4月1日に生まれた者を含む。）

※ 出願資格3⑥により出願を希望する者については、個別審査を行いますので、本学所定の様式に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和元年8月8日(木)〔午後5時必着〕までに提出してください。

なお、個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課に問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)を参照してください。

## 〔食農学類〕

### 地域社会貢献枠

次の1から4のすべてに該当する者とします。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および高等学校もしくは中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
2. 福島県内の高等学校等の卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者。福島県外の高等学校等の卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内もしくは出身県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者
3. 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合、入学することを確約できる者

4. 以下のいずれかを取得している者

① 実用英語技能検定準2級以上

以下の検定結果でも可

※CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）A2とし

IELTS 3.0以上, TEAP 150以上, GTEC 690以上, GTEC CBT 510以上, TOEIC L & R S & W 385以上（L & R 225以上, S & W 160以上）など

② 実用数学技能検定2級以上

③ 上記同等, 同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス1級など）

### 実践教育経験枠

次の1から3のすべてに該当する者としてします。

1. 高等学校専門学科（農業, 工業, 商業, 情報, 水産, 家庭, 看護, 福祉に関する学科）, 総合学科もしくは中等教育学校専門学科（農業, 工業, 商業, 情報, 水産, 家庭, 看護, 福祉に関する学科）を令和2年3月卒業見込みの者または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者で, 農学を学ぶ強い意欲を持つ者

2. 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し, 本学類で学ぶ強い意志を持ち, 合格した場合は入学することを確約できる者

3. 以下のいずれかを取得している者

① 実用英語技能検定準2級以上

以下の検定結果でも可

※CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）A2とし

IELTS 3.0以上, TEAP 150以上, GTEC 690以上, GTEC CBT 510以上, TOEIC L & R S & W 385以上（L & R 225以上, S & W 160以上）など

② 実用数学技能検定2級以上

③ 日本農業技術検定3級以上

④ 日本商工会議所簿記検定2級以上

⑤ 上記同等, 同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス1級など）

## IV. 出 願 手 続

### 1. 出 願 期 間

行政政策学類 夜間主 令和元年10月21日(月)～10月25日(金) 午後5時まで

共生システム理工学類 令和元年9月2日(月)～9月5日(木) 午後5時まで

食農学類 令和元年9月2日(月)～9月5日(木) 午後5時まで

### 2. 出 願 書 類 提 出 先

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 ☎ 024-548-8064

### 3. 出 願 方 法

入学志願者は, 下記書類を取り揃えて, 必ず書留速達にして郵送してください。

封筒の表面には, 「〇〇学類 AO 入試出願書類在中」と朱書してください（〇〇には, 志願学類名を記載してください。）。

出願期間を過ぎた場合は受理できませんので, 郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。ただし, 行政政策学類夜間主は, 令和元年10月23日(水)以前, 共生システム理工学類は, 令



和元年9月4日(水)、食農学類は、令和元年9月4日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

### 出願書類

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票 写 真 票 受 験 票	<p>本学所定の用紙 写真：出願前3カ月以内に撮影したものを指定の場所に貼付してください。 (上半身、正面、脱帽、縦4cm×横3cm)</p>
2. 検定料収納証明書貼付票	<p>「検定料収納証明書貼付票」裏面の「検定料支払方法のご案内」を参照の上、行政政策学類夜間主は検定料<b>10,000円</b>を、共生システム理工学類および食農学類は検定料<b>17,000円</b>を下記の期間内に払い込んでください。(払込手数料が別途必要です。)</p> <p><b>【払込期間】</b>  <b>行政政策学類 夜間主：令和元年10月19日(土)0：00から</b>  <b>10月25日(金)16：30まで</b>  <b>共生システム理工学類：令和元年8月31日(土)0：00から</b>  <b>9月5日(木)16：30まで</b>  <b>食農学類：令和元年8月31日(土)0：00から</b>  <b>9月5日(木)16：30まで</b>  <b>(期間外は払い込みできません。)</b></p> <p>「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、「検定料収納証明書貼付票」に貼付した上で出願書類に同封してください。</p> <p>出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても検定料は返還できません。</p> <p>ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかったまたは出願が受理されなかった)  イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ</p> <p>検定料返還に関する問合せ先：福島大学財務課出納係  ☎ 024-548-8015</p> <p>ただし、共生システム理工学類および食農学類の第1次選抜不合格者に対しては、本人の請求に基づき、13,000円を返還します。なお、請求方法等については、該当者へ個別に通知します。</p> <p><b>※検定料免除について</b>  本学では、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故ならびに平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和元年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を行います。  免除の条件については16ページの「ⅩI. 東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。</p>
3. 調 査 書	<p>高等学校長、中等教育学校長または高等専門学校長が作成したもの(開封無効)。  高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)合格者は、成績証明書を調査書に代えることができます。</p>
4. 志願理由書 〔行政政策学類 夜間主(A票 およびB票)、 共生システム 理工学類〕	<p>本学所定の用紙(本学ウェブサイト「入試情報-募集要項」(<a href="http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html">http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html</a>)からもダウンロードできます。)  志願者本人が作成したもの。</p>

出願に必要な書類	摘 要
5. 自己推薦書 〔食農学類〕	<p>本学所定の用紙（本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<a href="http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html">http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html</a>)からもダウンロードできます。） 志願者本人が作成したもの。（自筆のみ）</p>
6. ポスター 〔共生システム〕 〔理工学類〕	<p>以下の課題の1つを選択し、17ページのアドバイスを参考に、以下の様式により作成してください。</p> <p>課題A：現在、我々が直面する人－産業－環境を取り巻く様々な問題を解決するために、我々はどのような取り組みをすれば良いでしょうか？ あなたの関心のある問題を1つ課題設定し、問題解決に向けた独自のアイデアを含む提案を、ポスター1枚にわかりやすくまとめてください。</p> <p>課題B：あなたが関心を持って行った理工学的テーマについての調査・研究・開発（製作）を、ポスター1枚にわかりやすくまとめてください。科学的な新しさ、または社会的貢献の可能性を含む課題設定を求めます。</p> <p>○サイズ：<b>模造紙サイズ（788mm×1,091mm）</b></p> <p>○用紙の材質・色およびポスターの縦横ならびに文字等の数・大きさ、写真等の貼付け等は自由とします。</p> <p>○ポスターの裏面に住所、氏名、学んでみたいコース名を記載し、封筒に入る大きさに折りたたんで、出願してください。封筒は、ポスター等が入る大きさのものを各自で準備してください。</p>
7. 就職を証明する書類または入学後に就業しながら修学する意思を確認する書類 〔行政政策学類〕 〔夜間主〕  ※満22歳に達している者は提出不要	<p>(1) 就職している者 就職し、週平均20時間以上労働していることを証明する書類 次のいずれかの書類</p> <p>① 在職証明書（勤務時間、勤務日数等が明記されており、週20時間以上の労働が確認できること。18ページ作成例参照。（本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<a href="http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html">http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html</a>)からもダウンロードできます。))</p> <p>② 給与明細書の写し（健康保険料・厚生年金掛金等が控除されていること）</p> <p>③ 源泉徴収票の写し（社会保険料等の金額が入っていること）</p> <p>④ 健康保険証の写し（主婦（主夫）業の場合は被扶養者の記載でも可）</p> <p>⑤ 所得証明書または確定申告書の写し（自営業者の場合）</p> <p>(2) 就職が内定している者 就職が内定し、週平均20時間以上労働することを証明する書類 次のいずれかの書類</p> <p>① 内定証明書（勤務時間、勤務日数等が明記されており、週20時間以上の労働が確認できること。18ページ作成例参照。（本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<a href="http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html">http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html</a>)からもダウンロードできます。))</p> <p>② 労働条件通知書や雇用契約書</p> <p>(3) (1)、(2)の証明が困難な者で、今後就職活動を行い、入学後に週平均20時間以上就業しながら修学する意思がある者 入学後に週平均20時間以上就業しながら修学する意思を確認する書類（就職意思確認書。19ページ作成例参照。（本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<a href="http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html">http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html</a>)からもダウンロードできます。)) ※ただし、本書類で出願が認められ、合格した者は、上記の(1)または(2)にあたる書類を今年度内に改めて提出することが求められます。</p>
8. 取得資格を確認できる書類 〔食農学類〕	<p>出願資格のうち、実用英語技能検定準2級以上等の取得資格を確認できる書類の写し。</p>

出願に必要な書類	摘 要
9. 受験票等送付用封筒	本学所定の封筒 志願者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、所定の料金分の切手を貼ってください。(行政政策学類夜間主364円、共生システム理工学類および食農学類362円)
10. 宛名票(シール)	本学所定の用紙 合格通知を受けるところの郵便番号、住所、氏名を記入してください。

- (注) 1. 廃校または被災、保存期間超過による廃棄など種々の事情により、出身学校の調査書が得られない場合は卒業証明書と成績証明書を提出してください。また、成績証明書も得られない場合には、調査書・成績証明書が発行できない旨の証明書(出身学校長が作成したもの)を提出してください。
2. 廃校または被災、保存期間超過による廃棄など種々の事情により、成績証明書が得られない場合は、成績証明書が発行できない旨の証明書(出身学校長が作成したもの)を提出してください。
3. 本人被災その他の理由により上記の書類も整わない場合には、本学入試課へ問い合わせてください。
4. 提出書類中、日本語以外で書かれた証明書には、必ずそのすべてに日本語訳を添付してください。
5. 「受験票等送付用封筒」、「宛名票(シール)」に印字されている「様」は訂正しないでください。
6. 出願書類受理後、出願の取り消し、書類の返却は認めません。
7. 出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。
- ① 入学志願票等に、記入漏れまたは誤記入があるもの
  - ② 出願書類として添付が必要な証明書等が、同封されていないもの

#### 4. 志願票等出願書類の記入上の注意

- ① 黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください(行政政策学類 夜間主および共生システム理工学類の志願理由書はパソコンによる作成も可)。
- ② 誤って記入した場合は、その部分を二重線で消し訂正してください。

#### 5. 出願状況について

本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に出願状況等を掲載します。

#### 6. 受験票について

受験票および受験者心得は、出願期間最終日から10日以内に郵送します。

出願期間最終日から2週間を経過しても到着しない場合は、本学入試課に連絡し、受験に必要な指示を受けてください。

なお、食農学類志願者については、第1次選抜の結果通知に同封します。

## V. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の1カ月前までに本学入試課まで申し出てください。

## VI. 選 抜 方 法

### 〔行政政策学類 夜間主〕

志願理由書に基づいた口頭試問（100点）を行い、問題意識や勉強意欲等を総合的にみます。また口頭試問では、志望動機に関してはA・B・C・Dで評価を行い、D評価の場合には口頭試問の得点如何にかかわらず不合格となります（D評価とは基準を満たさないと判断された場合を言います）。なお、調査書（もしくは成績証明書）は判定の基礎資料として利用します。

#### 【選抜日程】

試 験 日	時 間	試験科目等
令和元年11月30日(土)	集合時間は、受験票送付の際にお知らせします。	口 頭 試 問

### 〔共生システム理工学類〕

入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜により行います。

#### 1. 第1次選抜

出願時に提出されたポスターおよび出願書類を総合的に評価し、60名程度を第1次選抜合格者とします。

なお、志願者が60名を超えない場合には、第1次選抜を実施せず、第2次選抜のみとします。その際は、受験票送付時にお知らせの文書を同封するとともに、9月13日(金)に本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に掲載します。

**ポスター評価基準：**課題設定の適切さ、知識、独創性、分析力、論理展開の正しさ、表現力等を評価します。

印刷したものであるか、手書きであるか自体は評価に影響しません。

#### 【第1次選抜合格発表】

令和元年9月26日(木)午前11時に本学入試課前の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲示するとともに、本人あてに通知します。

#### 2. 第2次選抜

第1次選抜合格者には、総合問題、ポスター口頭説明および質疑応答を課し、総合的に評価し選考します。

**総 合 問 題：**高等学校（中等教育学校後期課程含む。）までの学習全般を範囲とした問題を出します。

**ポスター口頭説明：**選択した課題について、出願時のポスターを用い、5分程度で説明してください。その後、面接員との質疑応答を実施します。課題設定の適切さ、課題に対する理解、知識、独創力、分析力、論理展開の正しさ、表現力ならびにコミュニケーション能力等を評価します。ポスター口頭説明および質疑応答では、発表原稿等、手持ち資料の持ち込みは認めません。提出したポスターのみを用いてください。

#### 【選抜日程】

試 験 日	時 間	試験科目等
令和元年10月12日(土)	10：00～11：30	総 合 問 題
	13：00～17：00 終了予定	ポスター口頭説明および質疑応答

## 〔食農学類〕

入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜により行います。

### 1. 第1次選抜

書類選抜とします。

以下の書類により、熱意と適性の評価を行います。

- ・自己推薦書（本学様式）
- ・調査書（食農学類への適性を判断するため使用）

#### 【第1次選抜合格発表】

令和元年9月12日(木)午前11時に本学入試課前の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲示するとともに、本人あてに通知します。

### 2. 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して課題論文を課すとともに面接を実施し、総合的に評価します。

#### （課題論文）

地域社会貢献枠：農学と地域社会のつながりに関する配布資料について、800字以内の論述を求め、理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。

実践教育経験枠：農学に関する配布資料について、自分自身の経験と関連付けた800字以内の論述を求め、理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。

#### （面接）

地域社会貢献枠：自己推薦書の内容を中心に質問を行います。地域社会での経験や関心を発展的な取り組みにつなぐ意欲を把握し、基礎学力、勉学への積極性、コミュニケーション能力等とあわせて総合的に評価します。

実践教育経験枠：自己推薦書の内容を中心に質問を行います。実践教育の経験を発展的な取り組みにつなぐ意欲を把握し、基礎学力、勉学への積極性、コミュニケーション能力等とあわせて総合的に評価します。

#### 【選抜日程】

試験日	時間	試験科目等
令和元年10月26日(土)	10:00～11:30	課題論文
	13:00～17:00 終了予定	面接

すべての学類について、試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）となります。

本要項末の大学案内図を参照してください。試験室および控室等については、試験当日、受験に関する掲示板に掲載します。



## Ⅶ. 合格者発表

行政政策学類 夜間主	令和元年12月12日(木)	午前11時
共生システム理工学類	令和元年10月24日(木)	午前11時
食農学類	令和元年10月31日(木)	午前11時

合格者の発表は本学入試課前の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲示します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸会費等を記載した「入学手続の手引き」を郵送します。電話による合否の問い合わせには応じません。合格者発表当日は、インターネット回線が混雑するため、つながりにくい場合があります。

## Ⅷ. 入学手続

### 1. 入学手続について

合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

**令和元年12月13日(金)～20日(金) 午後4時必着**

- (注) 1. 指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。  
2. 入学手続が完了したときは、他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く。)を受験しても合格者となりません。

※公立大学協会のウェブサイト (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

### 2. 入学辞退者の取扱い

原則として、AO入試に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、令和元年12月20日(金)までに「入学辞退願」(様式は任意)を提出してください。

### 3. 入学時の大学への納入金

入学料(予定額)	共生システム理工学類 食農学類	行政政策学類 夜間主
	282,000円	141,000円

- (注) 1. 上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。  
2. 入学手続完了後に、入学を辞退した場合(留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む。)は、入学料の返還はできません。

#### (参考) 1. 授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。なお、授業料の金額(予定額)は次のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授業料(予定額)	共生システム理工学類 食農学類	行政政策学類 夜間主
	前期分 267,900円	前期分 133,950円
	後期分 267,900円	後期分 133,950円
	合計(年額) 535,800円	合計(年額) 267,900円

## 2. 諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費（「学生会」「後援会」「同窓会」の会費等）については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

## 4. 入学料・授業料の減免について

入学料については、学資負担者が死亡または風水害等の災害のため入学料の納入が、著しく困難であると認められる場合、またはこれと同等の事情があると認められた場合には、選考のうえ減免が許可される制度があります。

授業料については、経済的理由により授業料の納入が困難で、かつ学業優秀と認められる場合には、選考のうえ減免が許可される制度があります。

## Ⅷ. 入試情報公開（開示）について

### 1. 試験問題等の公開について

総合問題については、問題および解答例を合格者発表後に公開します（学内閲覧のみ）。

### 2. 入学試験個人成績等の開示について

入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書を本学の定める方法により開示します。

① 開示期間 令和2年5月7日(木)～5月29日(金)

② 開示方法 令和2年4月上旬、本学ウェブサイトに掲載します。

<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html>

③ 開示内容

ア. 第1次選抜については、共生システム理工学類はポスターの成績、第2次選抜については、共生システム理工学類は総合問題、ポスター口頭説明および質疑応答の成績、食農学類は課題論文および面接の成績、行政政策学類 夜間主は口頭試問の成績。

イ. 調査書については、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物（高校在学時に交付される通知書と同等のもの）。

## Ⅹ. 入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

○ 入学者選抜に関する業務（統計処理等の付随する業務を含む。）に利用します。

○ 入学手続完了者にとっては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務、入学者の教育方法の改善に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金申請（応募）者にとっては、入学試験の成績等当該免除者または奨学金貸与者の選考判定に利用する場合があります。

なお、合格者にとっては、国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に個人情報の一部が送達されま

## XI. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和元年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

（注：検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。）

### (1) 対象者

次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
- ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
- ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否（可は○、否は×で示しています）				
	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
①家屋の全・半壊	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

### (2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

- ① 検定料免除申請書（本要項に添付された指定の様式）

- ② 次に挙げる証明書のいずれか1つの写し

上記(1)①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」

上記(1)②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記(1)③に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

### (3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願期間中に出願書類と合わせて提出してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。また、「検定料収納証明書貼付票」の提出は不要です。

## XII. そ の 他

### 共生システム理工学類 AO 入試のポスターの利用について

本学では、オープンキャンパスでの共生システム理工学類 AO 入試説明会会場において、高い評価を得たポスターを数点展示します。また、希望者に入試課窓口でのこれらの閲覧（写真撮影・コピー不可）を許可します。展示や閲覧の際には、氏名等を伏せた上で提出されたポスターを利用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

#### 【参考】

### ● ポスター作製上のアドバイス ●

共生システム理工学類のアドミッション・オフィス（AO）入試に出願するポスターを作製する際には、以下に挙げる点に留意してください。

- この入試でいう「ポスター」には、「出願者が着目した現代社会における問題に対する独自のアイデアを含む提案【課題A】」、あるいは「出願者の調査・研究・開発（製作）【課題B】」について、提案または結論のみならず、そこに至るまでの道筋が明確に読み取れることが求められます。そのため、文章や図、グラフ、写真、表などを用いて、詳しくかつわかりやすく表現されたポスターが期待されます。このようにここでいう「ポスター」は、美術の授業等で作製するような、いわゆる広報用ポスター（例えば交通安全や虫歯予防などを呼びかける標語ポスター）ではないことに十分注意してください。
- 第2次選抜の口頭説明の際には、面接員はポスターを2m程度離れた位置から見ることになります。このため、文字の大きさは少なくとも高さ20mm程度必要となります。
- 説明のために必要な図表等を書籍やホームページなどから引用した場合は、必ず、出典を明示してください。
- 12ページの「ポスター評価基準」をよく読み、作製したポスターからそれぞれの評価項目が読み取れることを確認してから出願することを、強く勧めます。

## XIII. 令和3年度福島大学入学者選抜（令和2年度実施）の見直しに関する予告について

本学ウェブサイトの「入試情報」（<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）に最新の情報を掲載していますので、ご覧ください。



作成例

## 在職証明書（内定証明書）

氏名 ○ ○ ○ ○  
平成○年○月○日生

上記の者は、下記のとおり弊社に在職していること（内定していること）を証明します。

### 記

勤務場所 : 株式会社○○○○ ○○支店（○○市○○町○番地）  
勤務日 : 月曜～金曜の週5日  
勤務時間 : 10:00～16:00  
（勤務時間 : 週20時間以上 詳細まで勤務時間が決まっていない場合）  
（勤務開始 : 令和2年4月1日～）  
勤務内容 : 販売担当

株式会社○○○○

代表取締役 ○ ○ ○ ○ 印



## 就職意思確認書

令和 年 月 日

私は、福島大学行政政策学類夜間主で学ぶにあたり、週平均20時間以上就業する意思があることを確認します。

また、行政政策学類夜間主に合格し、就業する場を得た後、「在職証明書」もしくは「内定証明書」を今年度内に提出します。

志願者氏名

(自筆による署名)

平成 年 月 日 生

